

令和4年6月28日(火)

令和4年度
学校だより

第3号

Let's try

TEL 098-994-6321

今日も楽しもう！！

糸満市立
兼城小学校

発行者
校長 山田 浩也

【学校教育目標】

将来の夢に向かって、心をみがき、頭と体をきたえる「思いやりのある かしこく たくましい子」

授業参観について

今月6月15日(水)は授業参観授業参観を実施致しました。沖縄県内では新型コロナウイルス感染症の罹患者が依然として高止まりが続く中ではありますが、本校では1校時から4校時にわたり※各字別に参観時間を割り振り行いました。前回(5月)の日曜授業参観におきましては1年生を除き、オンラインによる授業の様子を配信する取り組みでしたので1年生の保護者の皆様にとっては授業、担任の職員、我が子の様子が見える初めての機会であったかと思えます。平日の午前中にもかかわらず、数多くの保護者の皆様が授業参観に訪れ、いつもより子どもたちも授業に張り切った様子でした。

※1校時→兼城・兼城ハイツ・賀数 2校時→座波・賀数団地・校区外
3校時→北波平・武富・武富ハイツ 4校時→阿波根・賀数宿舎に分
け実施。



(参観する保護者の皆様)



水泳学習実施中！

前回の学校だよりにおいて、プール開きを実施したことお知らせいたしました。現在も1年生から6年生まで水泳学習に取り組んでいるところです。梅雨の期間中は、比較的気温が低めということもあり、肌寒い学習でしたが梅雨明けと同時に夏の季節を感じさせる元気っぱいの授業の取り組みとなっています。本校職員一同くれぐれも水の事故には気をつけ子どもたちの泳力の向上に努めてまいります。

(個別の目標に向けて取り組む6年児童の様子)

平和学習の取り組み

兼城小学校では平和月間(6月)では戦争の悲惨さについて知り、平和を尊ぶ心を育成することや自他の生命を考えることをねらいとしてイベントを実施しました。

第二次世界大戦が終結して今年で77年が経過し戦争体験者による語りべが年々、数が少なくなっているなか、「沖縄県平和記念資料館友の会」会員の方、沖縄戦を研究し子どもたちに平和の大切さを伝えようと取り組んでいる方(いずれも学校長経験者)に依頼し講話を賜りました。低学年(1年生から3年生まで)へは戦争に巻き込まれた住民や当時子どもたちの視点から戦争の実態を分かり易く伝えてもらい、高学年(4年生から6年生)へは沖縄戦に至るまでの経緯と南風原陸軍病院や、ひめゆり学徒隊の様子を中心に戦争の悲惨さ平和の大切さ、いじめのない世界の大切さについて語っていただきました。今、世界のどこかで起こっている戦争が決して対岸の火事ではない現状に子どもたちも真剣な眼差しで、お話を聞き入っていました。

※ 体育館で行われた講話は新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえ3学年と6学年の参加し他の学年はオンライン配信で実施致しました。

